



岩手クミアイプロパンセンター LPガス貯蔵タンク

特集

クミアイプロパンの 安定供給・安全への 取り組みについて

資材部



季節のエッセー

いわての野草

文・澤口 たまみ
絵・永澤 美貴子

「ヒカゲノカズラ」

(ヒカゲノカズラ科)

岩泉町の茂師^{もし}というところで、中生代の地層から恐竜の足の骨が見つかり、「モシリユウ」と名づけられた。全長2.2メートルに達する、巨大な恐竜である。ヒカゲノカズラは、恐竜たちが地球上に君臨^{くんりん}していた今から1億年ほど前に、繁栄していたシダ植物の仲間である。しかし、いったい何が起こったのか、恐竜たちは6500万年前に、突如として滅亡してしまった。そしてそれに代わって、ちっぽけな哺乳類が栄え始めたのである。人類が誕生したのは、そのずっと後、少なくとも今から数百万年前のことである。地球が誕生したのが約50億年前、初めて生命が生まれたのは、数十億年前にさかのぼることを思えば、人間はたいへんな新参者なのだ。ヒカゲノカズラは見ている。恐竜が栄えて滅び、今また人間が栄えているのを…。

参考資料: 澤口たまみ著『岩手の野草百科』(岩手日報社発行)より

純情産地発
クララ

KLARA vol.821
2017.12

みんなの力で!



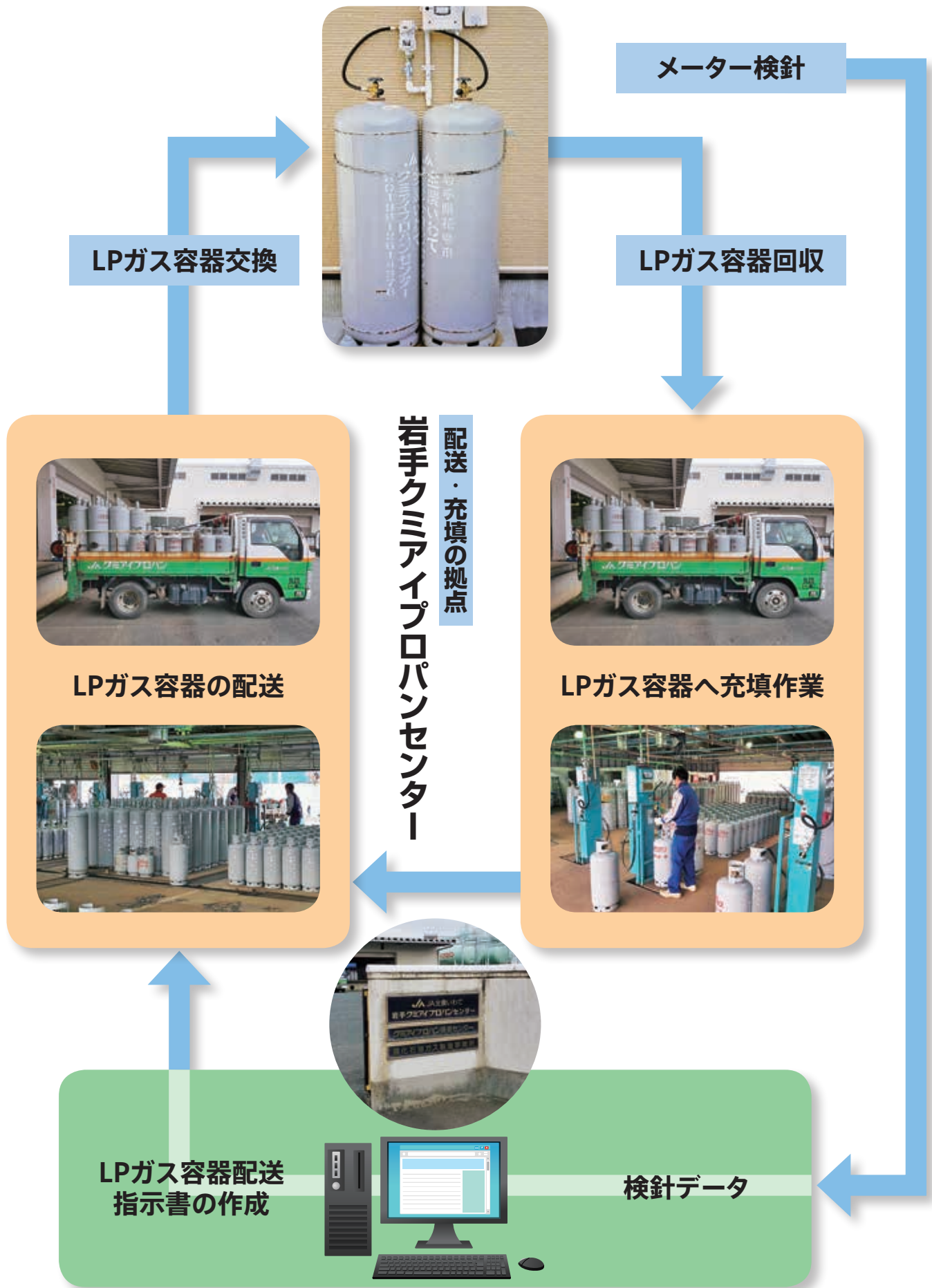
がんばろう!岩手
純情産地いわて

contents

季節のエッセー いわての野草	02	みんなの分教場	07
特集 クミアイプロパンの 安定供給・安全への取り組みについて	03	報告! 出向く活動班	08
消費地だより	06	純情むすめ活動記	09
銀河食堂info	06	純情人	09
		ニュースワイドアングル	10

タイトルのKlara (クララ) は、宮沢賢治の手帳に記されている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

LPガス安定供給の仕組み



はじめに

私たちは、日常生活でガス・灯油・電気の主要エネルギーを暮らしに合わせて使用しています。

電力や都市ガスが発電所や都市ガス基地から電線や埋設管で運ばれる大規模集中型エネルギーであるのに対し、LPガスは軒下に設置したLPガス容器から直接供給する、独立分散型エネルギーです。

東日本大震災の際には、電力や都市ガスは電線や埋設管の安全確認での復旧に日数を要しましたが、LPガスは独立分散型エネルギーの特長を活かし、地震による遮断から早期に復旧し、ご家庭のライフラインとして貢献しました。

また、LPガスは「軒下在庫」として常時LPガスをご家庭毎にストックしていますので、災害時の備蓄用エネルギーとしても活用できます。

LPガスは、海外からの輸入と国内で原油精製時に発生する国内生産分があります。輸入・生産されたLPガスは、国内で精製されて岩手クミアイプロパンセンター（充填所）に運ばれ、LPガス容器に充填されて各家庭に配送されます。ここでは、LPガスの安定供給と安全への取り組みについて紹介いたします。

(1) LPガス安定供給の仕組み

組合員に、LPガスを安定的にご利用いただくために、組合員宅毎のガスの利用状況を記録し、軒下に設置したLPガス容器の残量を予測計算し、容器交換を行うことでガス切れを起こさず、安定的にLPガスをご利用いただけるようにしています。

また、LPガス容器の交換の際には、ガスメーター等の点検を実施し、安全の確保に努めています。

(2) ガスメーター

LPガスの使用量を計測する本来の機能に加えて、内臓のマイクンで常にLPガスの使用状態を感じて自動的にガスを遮断する機能があります。

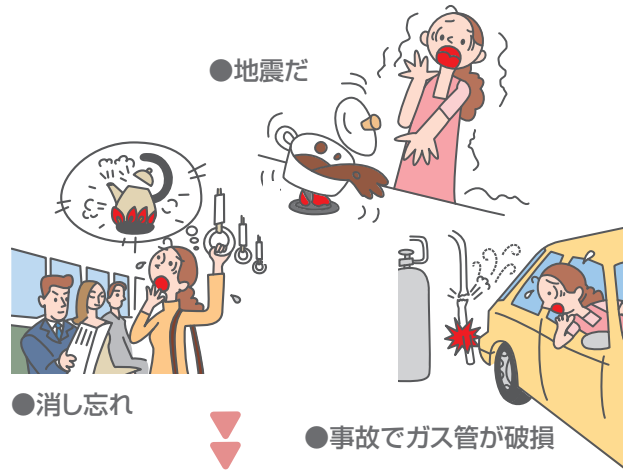
*安全対策

① ガス漏れによる遮断

- ・ ガス機器の未使用時に、ご家庭のガス配管内のガス圧力が低下するとガス配管からの漏洩等と判断してガスを遮断します。

- ・ ご家庭のすべてのガス機器を同時に使用した時のガスの合計流量を超えた場合、ガス漏れと判断してガスを遮断します。電気ブレーカーと同様の役割を果たします。

- ・ ご家庭の最大ガス消費機器の使用量以上にガス



LPガスを安全・安心・快適にご利用いただけるようガスメーターには保安機能が付いています。上記のようなトラブル時には自動的にガスの流れを止めることで事故を防ぎます。



の流量が一気に増加した場合、ガス漏れと判断してガスを遮断します。

② 地震による遮断

- ・ 地震対策として地震器を内蔵していますので震度5以上の場合には、ガスを遮断して二次災害を防ぎます。

③ 消し忘れによる遮断

- ・ 燃焼機器の使用時間が異常に長い場合、消し忘れと判断してガスを遮断します。

(3) ふれあい訪問活動

JAの販売所では、LPガスをご利用の組合員のお宅へのふれあい訪問活動を実施しております。

組合員に対し、巡回訪問、燃焼器具の点検サービスを実施し、ガス事故、CO中毒事故防止に向けた保安啓蒙活動を進め、利用者の保安確保をいたします。

また、訪問時には、ガスに関することはもとより、ガス以外のJAの事業に関するご相談を伺った際にも、関係部署と連絡をとりながら、お応えするようにしています。

組合員のお宅の訪問活動を通じて組合員とJAとのつながりをさらに太く、確実なものにすることを目標に取り組んでいます。



純情ブランド消費地の「今」をリポートします。

消費地販売部 発

消費地だより



消費地販売課
佐藤 光

「吹き抜ける、岩手の風」―銀河のしずく・金色の風の販売PRについて―



達増知事・のんさん・久保会長によるPR

29年産米からデビューの新品種「金色の風」と28年産米の「銀河のしずく」が県外の百貨店、量販店の店頭に並びはじめました。2年連続でブランド米を市場に投入し、岩手県産米に一般消費者からの期待が寄せられています。

10月16日には、三越銀座店にて金色の風デビューイベントでは女優の「のんさん」達増拓也が岩手県知事・久保憲雄・A岩手県五連会会長らが販売PRを行いました。

岩手県が製作した金色の風のTVC CMでは金色に輝く稲穂の中で、金色の風の使者となった「のん」さんが華麗に舞う姿が各メディアで注目を集めています。YouTubeで公開されているCM動画は40万再生を突破し、金色の風の高い注目度を象徴するものとなっています。

近年、ブランド米と称される高価格帯の銘柄米が各産地より登場し、その様相はさながら戦国時代のように言われています。北海道の「ゆめぴりか」や青森県の「青天の霹靂」、山形県の「つや姫」がその代表格と



10月16日
金色の風デビューイベント(東京：銀座三越)



10月16日
金色の風デビューイベント(大阪：大阪タカシヤ)



10月14日
新米のある暮らしフェア(東京：伊勢丹立川店)

なっています。同じく米どころの北陸地方でも新潟県の「新之助」や福井県の「いちほまれ」、富山県の「富山」など数多くの産地からブランド米がデビューしています。

全国から数多くのブランド米がデビューし、消費地では消費者の「お米」への関心が高まっています。JA全農いわてではそんな戦国時代を勝ち残り、日本一ではなく目指すは宇宙。「宇宙最強米への道」と題し銀河のしずくのTVC CMをシリーズで製作し販売PRを行っています。

こちらも「のん」さんを起用、「銀河のしずくPR本部長」となったのんさんが、「宇宙最強米」を目指すストーリーとなっています。CMは岩手県のみならず、関東・関西・中京地区で放送され全国各地で話題を呼んでいます。各CMは銀河のしずく特設サイトでも確認していただくことができます。

また、消費地では首都圏名古屋・大阪の各エリアを中心に毎月試食販売を実施し、認知度向上に努めています。百貨店や量販店では、各県産米銘柄の食べ比べイベント等も実施されており、今まで以上に選択肢が広がったことから消費者の関心が高まってきたことを感じます。

岩手県は今年、金・銀の二枚看板で消費地に「岩手の風」を吹かせます。

1. はじめに

りんごは、収穫期が近くと品種によって果肉にみつが入ります。しかしその実態はよく知られていませんので、簡単に説明します。

りんごの「みつ入り」はかつて「蜜病」と呼ばれ、病的症状でやっかいもの扱いされてきました。これは、アメリカで主要品種のデリシヤスを国内外に販売する際、長期貯蔵や長距離輸送に「みつ入り」が極めて不都合であり、商品価値を損ねる生理障害と位置付けていた(現在でも)経緯があります。

しかし、日本では「スターキング」をはじめとするデリシヤス系りんごが衰退する一方「ふじ」の生産が拡大し、特に「無袋ふじ」の増加とともに、「みつ入り」りんごは単なる過熟の障害果ではなく、「完熟の証し」として重要なセールスポイントとなつていきました。

2. 「みつ」の入るしくみ

りんごの葉で作られた養分はショ糖やソルビトールなど糖の形で果実に転流し、最後はブドウ糖や果糖に変化します。しかし、何らかの理由でソルビトールが他の糖に変わ



図1 みつ入り「ふじ」(果芯みつタイプ)



図2 みつ入り「はるか」

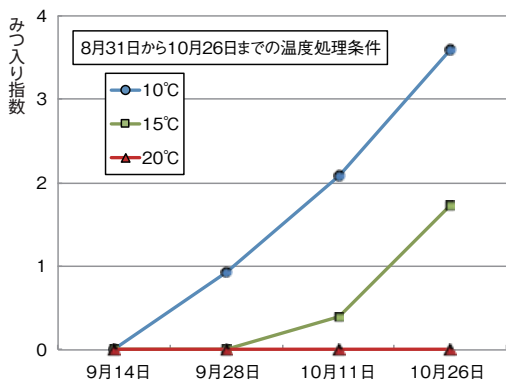


図3 温度条件の違いによる「ふじ」の時期別「みつ入り」程度(青森県りんご試験場 1990)

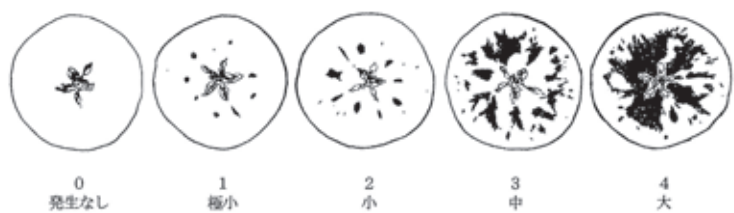


図4 みつ入り指数(青森県りんご生産指導要項 2014)

3. 「みつ入り」の進む条件

「みつ入り」の有無は品種によって明確な差があり、過去の品種では「スターキング」、現在では「ふじ」(図1)がみつの入る代表的な品種です。また、近年では「はるか」(図2)や「ぐんま名月」など、よくみつの入る品種も増えています。

また、諸条件のなかでは気温の影響が最も大きく、「ふじ」では15℃以下の低温で「みつ入り」が促進され、9・10月の気温が高いほど劣ります(図3、4)。その他の条件

らずそのまま果肉の中に蓄積すると、それが「みつ入り」という症状になります。

ソルビトールが多くなると果肉の細胞から沁みだして細胞間に溜まり、その部分は水浸状となって蜂蜜に似たアメ色を呈することから、「みつ」と呼ぶようになったと思われます。なお、ソルビトールはショ糖などより甘みが少ないため、みつの部分だけ食べても特段甘みが強いわけではありませんが、独特の風味を感じます。

4. 今後に向けて

現在では「みつ入り」が消費者に好まれる大きなポイントになっており、光センサーの活用でその程度を非破壊測定することも可能となりました。一方、みつの多少は気象条件(特に気温)に左右され、栽培上、まだ「みつ入り」をコントロールできていません。

今後、秋が温かいとみつの入りが悪いこと、みつは貯蔵中に消失すること、みつが入りすぎると「みつ褐変」を生じることがあるなど、消費者の理解を得る努力を続けると同時に、「みつ入り」を向上させる技術の確立が望まれます。

では着果量や土壌水分も影響することが知られています。

「鍋」始めました!

寒い日が続く、氷点下を下回る日も出てきました。そんな寒い日に食べたくなる新メニューが、いわて純情米の店「銀河食堂」に新登場!! 11月13日(月)から、店長おすすめ「鍋プラン」を始めました。これからますます寒くなっていくこの季節。この時期にぴったりな心も体も温まる新メニューです。この鍋プランを2つご用意させていただきます。2時間飲み放題コース限定で、「プレミアム飲み放題コース(5000円(税込))」(全ドリンクメニュー)

銀河食堂info



写真はイメージです。

からお選びいただけます。」「おすすり飲み放題コース(4000円(税込))です。家族や友達とともに、皆様でワイワイと鍋を囲んでみるのはいかがでしょうか。いわて純情米の店「銀河食堂」でお鍋を食べ、寒い冬を乗り越えましょう!皆様のご来店を心よりお待ちしております。

報告!



出向く
活動班



今回の報告者
担い手サポートセンター
出向く活動班
高橋 伸也

笑顔で育てる!「葛巻の元気な子牛」

女性担い手研究会「女性部葛巻支部フレッシュレディ」のご紹介

今月はJA新いわての葛巻地区担当課管内で活動始めた女性だけの担い手研究会「女性部葛巻支部フレッシュレディ」(代表:橋本 秀子)の皆さんをご紹介します。



会員と関係者

【酪農の町葛巻で「女子会設立」】

今まで地元の子牛は一番と信じていたところ、市場の担当者から「葛巻の子牛は小ぶり」との想定外の評価を頂いたことから、酪農女子8名が集まり「何とかしよう」と「女性部葛巻支部フレッシュレディ」の畑地区女子会として平成29年4月から活動しています。

【活動テーマは「元気な子牛の育て方」】

子牛の評価と収益向上を目指して愛情込めて子牛を元気に育てることに挑戦中。研究課題として「哺乳技術の向上」に取り組んでいます。また、最新ニーズを見極めるための活動や会員相互の情報交換の機会を増やすことにも取り組めます。

【積極的に視察研修会を実施】

同グループは「H29年度JAいわてグループ農業担い手サポート事業」を活用して色々な活動を開始しました。家畜市場の動向を把握するため5月と7月に中央家畜市場の

見学会とレベルアップ検討会を実施しました。また11月には、宮城県の伊東牧場を会場に子牛の個体に応じた哺乳管理を自動で行う「哺乳ロボット」について研修を行います。

【経営管理対策も勉強開始!】

最近の市場価格は堅調に推移していますが、今後も安定して健全経営が継続できるように経営管理能力の向上を主旨に経理研修会を予定しています。



市場見学の様子



庭先でTACと情報交換する橋会長

【明日に向かって】

グループの皆さんは、ご家族と力を合わせて葛巻の酪農振興に取り組んでいる方ばかりです。次世代を担う担い手研究会「フレッシュレディ」の皆さんをJAいわてグループ農業担い手サポートセンターは全力でサポートします。



生後一週間の子牛のお世話



会員相互の情報交換

笑顔が
はじける

純情むすめ
活動記

「岩手の美味しいお米を名古屋へ」



2017いわて純情むすめ
藤澤 桃子

10月26日、27日に、名古屋市中開催されました「ユニー岩手県フェア」に参加させていただきました。

今回のフェアでは、名古屋市のスー



パーマケット「アピタ名古屋栄店」と「アピタ千代田橋店」の2店舗にて、岩手県オリジナル品種米「金色の風」と「銀河のしずく」の試食販売を行いました。特に「金色の風」は、10月8日にデビューしたばかりのお米で、ふんわりとした食感と豊かな甘み、冷めても変わらない粘りが特徴のお米です。試食提供では、お客様に金色の風と銀河のしずくの両方を食べ比べをし、実際に試食したお客様からは、「やわらかくて、甘味があつて美味しい」などといったお褒めの言葉を沢山いただきました。改めて岩手を誇りに思うと同時に「純情産地いわて」をより多くの方々に知っていただける良い機会となりました。

また、小さいお子様からご年配の方まで、多くのお客様が試食され、岩手のお米に関して興味や関心を持っていただけていることが分かり、とても嬉しかったです。そして、今回は販売促進活動だけでなく、東海テレビテレビの情報番組「スイッチ」にも生出演し、岩手自慢の農畜産物や観光地をPRする



る機会をいただきました。慣れない環境の中、大変緊張しましたが、見て下さった皆さんに、少しでも岩手の魅力をお伝えしたいという思いで、懸命にPRしました。

2日間、短い期間ではありましたが、名古屋の皆さんが温かく迎えてくださり、私も楽しみながら活動させていただきましたことが出来ました。早くも12月となり、いわて純情むすめの活動を始めてから半年が経とうとしています。岩手の生産者の皆さんの日々のご苦労やひたむきな努力があるからこそ、岩手の農畜産物が全国の方々に必要とされ愛されているのだと思います。

いわて純情むすめとして活動させていただけなのに、感謝の気持ち忘れずに、出会った皆さんとの交流を大切に深めながら、これからもいわて純情むすめ5人のみんなと一緒に笑顔で岩手の農畜産物をPRしていきます。残り半年間、どうぞよろしくお願いたします。

JA全農いわての 純情人
じゅん じょう びと

趣味・特技

スポーツ全般(特にバレーボール、サッカー)、映画館での映画鑑賞

現在の担当業務

現在、私はJAいわて花巻さんの農薬推進担当業務、農薬の受発注業務を主にしています。

JAいわて花巻管内の各支所、グリーンセンター、農家さんを訪問させていただき推進業務などを行っています。

これからどんな職員になってみたいか

現在私が行っている業務はJAさんであったり、農家さんであったり多くの方々と関わりを持つことのできる業務ですのでJAさん農家さんから信頼され、必要とされるような職員になりたいと思います。



資材部
肥料農薬推進課
いわま ゆうたろう
岩間 裕太郎さん

「純情産地いわて」をPR

11月5日(日)

いわて・みちのくフェア

ＪＡ全農いわては、11月5日(日)に、神奈川県のスーパヤマサ・クイーンズマート店で、「いわて・みちのくフェア」を実施しました。

昨年度、ヤマサ(株)の売上の一部と来店者からの募金を、台風10号の被害を受けた岩泉町へ義援金として寄付いただき、今年は、岩泉町の被害状況と復興の様子をパネル展示で紹介しました。「純情産地いわて」の認知度向上と、産地－消費地間の関係強化のために、2006年に開始。今年で12回目を迎えました。

当日は、ヤマサ(株)、ＪＡ全農いわて等流通・販売関係者が、県産農畜産物の試食販売や様々なイベ



パネル展示



JAいわて花巻による餅つき実演。多くの来場者で賑わいました

南部ピュアポークのファン拡大へ

11月18日(土)

第26回「南部ピュアポーク」料理講習会

(株)よこまち、JA新いわて、(株)岩手畜産流通センター、本会は産直事業の一環として、青森県八戸市にある林料理学校にて、よこまちストア顧客約30名を対象に岩手県産ブランド豚「南部ピュアポーク」を使用した料理講習会を開催しました。

講習会に先立ち、南部ピュアポークを取り扱う(株)よこまちの横町俊明代表取締役社長は、現在に至るまでの歴史や苦労などを交えて挨拶されました。

料理講習会実習では、講師に料理研究家の下田真紀子氏を招き、

「豚ヒレ肉のローストポーク」、「家庭で絶品 豚ひき肉の羽根つき餃子」、「豚バラのヘルシー豆乳鍋」と題し、南部ピュアポークを使用した3品の作り方を紹介。グループごとに調理をした後、自分たちが作った3品と今年デビューした岩手県産米新品種「金色の風」を合わせて試食。参加者の方々は「美味しい」と笑顔を浮かべていました。



下田真紀子先生と参加者の皆さん

学校給食に豚肉を無償提供

11月20日(月)

JAいわて中央養豚専門部会食育イベント

11月20日(月)に、岩手県紫波町立水分小学校で、JAいわて中央の養豚専門部会による、食育イベントが開催されました。地域の子供たちに、食の大切さや養豚に励む生産者の思いを知ってもらおうと、平成8年から、同部会が年1回、学校給食に自分たちが育てた豚肉を無償提供しています。給食の献立は、麦ごはん、牛乳、めかぶのすまし汁、イカリングフライ、味噌煮、りんご。このうち、味噌煮に養豚専門部会提供の豚肉が使用され、紫波町内の小学校11校、中学校3校の計14校の2872食分の、豚2頭分(約100kg)を無償提

供しました。

水分小学校では、3・4学年を対象に、JAいわて中央 養豚専門部会の阿部秀夫部会長、七木田一也副部会長や紫波町給食センターおよび本会畜産統括課が訪問し、児童らと一緒に給食を食べながら、地元産の豚肉や食材の美味しさを伝えました。子供たちは、豚肉に興味津々であり、熱心に同部会長・副会長の話に耳を傾けていました。



阿部部会長と子供たち。言葉を盛んに交わしながら、豚肉を美味しく食べました



編集後記

ついに雪が降る時期となり、冬到来ですね。朝は気温が氷点下となり、冷たい風が頬を切ります。寒いのは苦手ですが、雪が降ってしんと静まり返る空間はとても趣深く、私は好きです。冬といえば、今月号の表紙の写真で使用している、いわて純情プレミアム

「冬恋」ですね。恥ずかししながら、私はまだ「冬恋」を食べたことがありませんので、今年は、絶対に食べてみようと思います。

(佐藤)

県産りんごの出来栄え競う

10月19日(木)

2017いわて純情りんごコンテスト(第1部)

ＪＡ全農いわて園芸部は、19日(木)に、北上市の岩手県農業研究センターにて、2017いわて純情りんごコンテスト第一部を開催しました。このコンテストは、県内りんご生産者の生産技術の研鑽を促すとともに、消費者に「いわて純情りんご」を紹介して一層の消費拡大を図ることを目的に、毎年開催しているもの。

第一部の出品品種は、中生種のジョナゴールド。全48点の出品作の中から、総合の部、品種の部、若者の部の3部門に分けて審査を行いました。盛岡市の熊谷博文さんの出品作が品種の部で最優秀賞に選ばれ、二戸市の平裕さんの出品作が若者の部の優秀賞に選出されました(若者の部は、優秀賞が最高賞)。総合の部は、11月21日(火)～22日(水)に行われた第二部の結果を待ってから発表

盛農とタイアップ企画

10月28日(土)、29日(日)、11月2日(木)

盛農祭・収穫感謝祭

10月28日(土)と29日(日)の2日間、県立盛岡農業高等学校で、「盛農祭」が開催されました。「盛農祭」は、生徒が心を込めて大切に育てた農畜産物や、加工品等が販売され、多くの来場者で賑わいます。9時30分開始予定でしたが、1時間前からお客様の列ができており、高校の文化祭とは思えないほどのにぎわいでした。他にも、搾乳体験や動物との触れ合い等、様々な体験をすることができました。その中で、JA全農いわては、両日、抽選会を実施しました。生徒の学科展に対するアンケートをご記入いただくと、抽選会に参加できるというもの。どの学科展が一番良かったかや、日本の農業への思いについて、ご回答いただきましたが、計493名のお客様に参加いただきました。そして、回答結果を盛農へフィードバックさせていただきました。

県産米安定供給・ブランド向上に向けて

11月1日(水)

第2回みちのく純情会

JA全農いわては、11月1日(水)に盛岡市で、第2回みちのく純情会を開催しました。県産米を取り扱う全国の卸売業者や岩手県、JA岩手県五連、県内JA組合長等の計43名が参集。全国の米穀情勢の他、平成29年産米の集荷販売や県オリジナル水稻品種「金色の風」と「銀河のしずく」のブランド向上について検討しました。

JA全農いわて米穀部の伊藤勝部長は、29年産販売計画として、事前契約推進を強化した結果、11万5千トン中9万2千トンが事前契約と報告。また、生産者が先を見据えて安心して米づくりを行えることを目的に、30年産以降に複数年契約を推進することを提示しました。

今年は、8月上旬からの日照不足・低温が続きました。各農協から

となります。

審査委員長を務めた岩手県農業研究センター技術部の渡辺芳幸部長は、「今年は台風18号の影響もあり、懸念されましたが、糖度が高く、硬度も保たれた良品質なものが出品されました。」と講評。今回出品されたりんごは、10月21日(土)～22日(日)の2日間、イオンモール盛岡「ふるさと百科もりおかん」にて、展示販売が行われました。



審査員により厳正な審査が行われました

11月2日(木)には、同校で、「収穫感謝祭」が実施されました。盛農生が実際に育てた豚やねぎ、味噌等を使った豚汁等を全校生徒で食べ、収穫することができた喜び・全校生徒で会食できる喜びを共有しました。また、盛農祭の学科展やポスター等の表彰式が行われ、本会が実施した学科展に関するアンケートで第1位を獲得した食品科学科には、JA全農いわてから、研究支援金を贈呈。将来の農業を担う盛農生へエールを送りました。

盛農とJA全農いわてのタイアップ企画は、今年で3年目。これからも盛岡農業高校との活動をつづけ、岩手県の農業を盛り上げていけるよう取り組みを進めていきます。

「盛農祭」のもちまきの様子。多くの来場者で賑わいました



「1週間ほど刈取りが遅れ、収量減が見込まれます。」「食味は、平年並みに良好です。」「品質低下が懸念されましたが、大きな被害にはなかったです。」等と報告が行われました。天候不順により収量は落ちましたが、品質は保たれました。

消費地の声としては、「量が不足している。県産米は人気があるため、集荷を頑張ってください。」「新品種の認知度をどんどんあげてほしいです。」といった声が挙げられました。

県産米の販売計画や集荷状況等について意見が交わされました



JAの産直でJAカードをご利用いただくと

いつでも

5%OFF

JAカードで おトク!

JA農産物直売所



① JA新しいわて直売所 花牛米菜 (かうべな)
所在地：栗石町高前田 152-3



③ 母ちゃんハウスだあすこ
所在地：花巻市野田 335-2



⑤ 産地直売所あぜみち
所在地：北上市流通センター 601-8



⑦ 産直 菜匂館
所在地：奥州市前沢区駅東 2-8-7



⑨ 産直 来夢(らいむ)くん
所在地：奥州市水沢区真城字杉ノ下 51



② ふれあい産直ショップ 花野果(はなやか)
所在地：久慈市中央 1-56



④ サン・フレッシュ都南
所在地：盛岡市下飯岡 21-80



⑥ 母ちゃんハウスだあすこ沿岸店
所在地：上閉伊郡大槌町大槌 16-28



⑧ 江刺ふるさと市場
所在地：奥州市江刺区愛宕字金谷 83-2

- 対象のJA直売所のご利用分をJAカードでお支払いいただくと、JAカードご利用代金ご請求時に割引した額で請求いたします。
- 一部、対象とならない商品・サービスがあります。
- 予告なく割引率の変更や本特典を終了する場合があります。
- 本特典は三菱UFJニコスが発行するNICO SブランドのJAカードが対象です。JCBブランドのJAカード、JAビジネスカード、JAコーポレートカードは本特典の対象となりません。



JA新しいわて／JAいわて中央／JAいわて花巻／JA岩手ふるさと／
JA江刺／JAおおふなと／JAいわて平泉／JA岩手県信連

詳しくはお近くのJA窓口までお問い合わせください。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課
JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
<http://www.junjo.jp>

